

出向・移籍を サポートします

企業間の
出向・移籍

お気軽に
ご相談
ください

信頼と安心

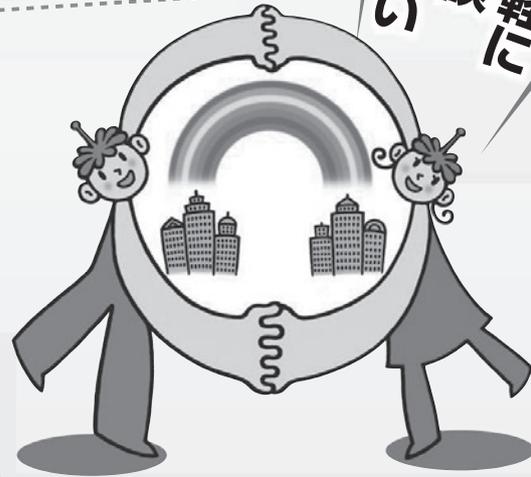
経済・産業団体と
厚生労働省の協力で
設立された
公益法人です。

全国ネット

全国47都道府県の
事務所で、取扱って
おります。

無料

情報の提供・相談、
あっせん費用は
かかりません。



センターの出向・移籍支援システム

公益財団法人 産業雇用安定センター

人材
送出
企業

人材情報の
登録

情報提供・
相談・紹介

人材
受入
企業

企業どうしの話し合い・面接

出向・移籍成立

出向・移籍

- ◎受入企業及び送出企業に対しきめ細やかな相談で最適な人材情報の提供・紹介を行います。
- ◎インターネットにより人材情報も提供しています。

センター 利用の メリット

- ◎センター独自の求人情報の提供が可能です。
- ◎他の公共職業紹介機関(ハローワーク等)との併用が可能です。
- ◎求職される皆様のご希望を考慮し、求人情報をご紹介します。
- ◎求職者にはセンターの職員が登録から再就職に向けて支援・指導を行います。



公益財団法人 産業雇用安定センター静岡事務所

〒420-0851 静岡市葵区黒金町11番7号 三井生命静岡駅前ビル12F

TEL 054-255-1343 FAX 054-652-3259

浜松駐在事務所

〒430-0928 浜松市中区板屋町110-5 浜松第一生命日通ビル13F

TEL 053-458-3621 FAX 053-458-3622

経済・産業団体、ハローワーク等と連携し、全国的なネットワークを通じて、
人材の確保、従業員の再就職支援に努めています。

●インターネットでもご覧いただけます

中央会静岡

検索

↓
トップページ中央右の
「今月の中小企業静岡」をクリック!

http://www.siz-sba.biz/library_index.htm

目次

INDEX

- | | | | |
|-------------------|--|---|----|
| ● 特集 | 創立60周年記念事業を開催 | | 2 |
| ● Business Report | 山梨県中央会と緊急時の相互支援協定を締結
平時を含めた事業連携の強化を目指す ほか |  | 8 |
| ● 景況ウォッチ | 9月の情報連絡員月次景況調査より | | 10 |
| ● ネットワーク | テクノカレッジ若年者コース入校生募集
について ほか | | 12 |
| ● Topics | 「平成27年度 組合事務局代表者会議」
を開催
(株)浜野製作所 代表取締役 浜野慶一氏が講演 ほか |  | 15 |
| ● 読者プラザ | 静岡県中小企業団体中央会
東部事務所 飯田 多佳子 |  | 16 |

創立60周年記念事業

ベトナム・カンボジア経済視察団
ものづくり企業技術交流フェア
静岡産業大学・冠講座
を開催

静岡県中小企業団体中央会は、昭和30年12月の設立から今年で60周年を迎えた。この節目の年を記念し、組合をはじめ関係各位への「感謝」、新たな時代への「挑戦」、輝く未来への「飛躍」の思いを込め各種記念事業を開催した。今回並びに次回の特集では、この記念事業の概要を紹介する。

静岡県中央会は、創立六〇周年記念事業の一環として海外経済視察団の派遣を実施した。二〇一五年のASEAN経済共同体(AEC)統合に向けて、日系企業の進出が加速している経済圏であるASEAN諸国の実情を視察。近年、日系企業の進出が相次ぐベトナム社会主義共和国と安価な人件費・関税特例・緩やかな海外投資規制などからタイ・ラオス・カンボジア王国の二か国を訪問した。



▲経済視察団一行

ベトナム・カンボジア経済視察団

統合が進むASEAN諸国の
実情を視察

〔視察団の概要〕

主催／静岡県中小企業団体中央会

(公社)静岡県国際経済振興会

静岡県食品産業協議会

参加者／県内中小企業者及び

中小企業支援機関

参加人数／三〇人(現地合流者含む)

団長／山崎 亨(静岡県中央会副会長)

日程／平成二七年九月六日(日)

～二日(土)

訪問国／ベトナム・カンボジア

■カンボジア(プノンペン)

(一日目(九月七日))

◆国家再建に向けた「熱気」

JETRO(日本貿易振興機構)より現地事情の説明を受けた後、昨年六月にオープンしたイオン・プノンペンを視察。日系企業としては、ノジマ、ダイソー等の小売店と飲食店が複数出店している。飲食店は、現地の嗜好に合わせて変化することが求められ、いち早くリニューアル対応できる店が生き残っている。沼津市から出店しているクレープ店も業態を代えながら営業を続けている。

続いて訪れたカンボジア日本人材開発センターは、日本国際協力機構などの協力を受けて運営されている日系企業向けの人材育成機関。王立プノンペン大学構内に施設を有し、内戦により失われた人的資源の復興に取り組む同施設では、国家再建に対する若者の強い熱気が感じられた。

ベトナム・カンボジア経済視察団 行程表 ※ 抜粋

月日	都市名	日 程
1 9月6日 日曜日	静岡 上海浦東 プノンベン	富士山静岡空港 発 中国東方航空にて空路、プノンベンへ 【プノンベン (泊)】
2 9月7日 月曜日	プノンベン	【プノンベ市内および郊外視察・訪問】 イオン・プノンベン視察 カンボジア日本人材開発センター (プノンベン大学内) 視察 【プノンベン (泊)】
3 9月8日 火曜日	プノンベン プノンベン ホーチミン	【プノンベ市内および郊外視察・訪問】 プノンベンSEZ (カンボジア経済特区・工業団地等) 視察 タイカ (プノンベンSEZ内 プラスチック製品製造業) 視察 ベトナム航空にて空路、ホーチミンへ 【ホーチミン (泊)】
4 9月9日 水曜日	ホーチミン	【ホーチミン市内および郊外視察・訪問】 ロンアン省タンキム工業団地視察 レンタル工場Kizunaプレゼンテーション Kizuna入居企業視察/アクティブ・ベトナム、TAT 【ホーチミン (泊)】
5 9月10日 木曜日	ホーチミン	食品班 (11人)【食品関係展示会等視察】 ベトナム国際フードショー視察 ビンタイ市場視察 一般班 (19人)【工業団地、現地日系企業視察】 ビンソン省ミーフック工業団地 (公益企業BECAMEX) 視察 ASTI (県内のワイヤーハーネス・電子基板製造業) 視察 【ホーチミン (泊)】
6 9月11日 金曜日	ホーチミン	【ホーチミン市内および郊外視察・訪問】 ファミリーマートGMによる説明会及び店舗視察 イオン・ホーチミン購買部長による説明会及び店舗視察 【機内泊】
7 9月12日 土曜日	ホーチミン 上海浦東 静岡	富士山静岡空港 帰着

【二日目 (九月八日)】
◆労働集約型産業に進出メリツト

プノンベン郊外に三六五haを有する経済特区プノンベンSEZを視察。七〇社の入居企業中、約半数が日本企業。デンソー、ミネベア、味の素等の大企業を中心だが、県内の中小サングルメーカーも進出を検討している。規制が少なく労働力が安価なため、人件費高騰の

タイから移転するタイプラスワン (タイ工場の一部業工場) としての進出が多い。一方で、交通インフラの未整備、電力料金の高さ、ワーカーの基礎教育レベルの低さなどが課題であり、機械装置産業より労働集約型産業の方が進出メリツトは高い。
進出企業の一つである(株)タイカは、県内の鈴木総業グループが前身の研究開発型企業。a GELと

呼ばれる多機能素材や曲面印刷を主力事業としている。プノンベン工場ではスポーツシューズの緩衝材を製造し、ベトナム・インドネシアに向けて年間五〇〇万足を出荷している。一七〇人の現地従業員を二人の日本人スタッフで管理しているが、ワーカーの育成が課題となっている。

■ベトナム (ホーチミン)
【三日目 (九月九日)】
◆レンタルサービス工場

Kizunaを視察

JETROホーチミンより現地事情の説明を受けた後、ロンアン省のタンキム工業団地内にあるレンタルサービス工場Kizunaを視察。単なる工場スペースのレンタルのみではなく、投資証明書の取得等の行政手続きの代行や初期の会計サポート等のサービスも行っている。レンタル工場は、連棟式で一工場当たり五〇〇〜一〇〇〇m²程度の面積で日本の工場アパートに近い形態 (三二区画中七割が日本企業)。中小企業が、初期投資を抑え試行的に進出してくるケースが多い。

この後、Kizunaに入居している日系企業アクトイブベトナム (オートバイパーツ製造)、TAT (精密板金・製缶製造) の二企業を訪問。いずれも五〇〇m²程度の小工場で製造を行っている。



▶アクティブベトナム (Kizuna内) の工場を視察

【四日目（九月二〇日）】

◆国際フードショーなどを視察

〔一般班〕

ビンズン省ミーフック工業団地を視察。経営母体であるベカメックス社（ビンズン省所属の公営企業）の説明を受けた。同工業団地は、ホーチミン市から四三kmに位置し、六〇〇〇haの広大な敷地に世界三〇カ国から四五〇の企業が入居している（日本企業は矢崎総業・キリンビバレッジ等約七〇社）。ワーカーの寮・アパート、託児所・学校等を備えた工業都市として複合総合開発が行われている。

この後、同省内にあるASTI（親会社は浜松市）を視察。中国プラスチックとして進出し、ワイヤーハーネスや電子基板をベトナムの日系家電二輪メーカーへ供給している。担当者は、現地ワーカーの質の高さを強調していた。

〔食品班〕

ベトナム国際フードショーを視察。ベトナム市場を狙う各国の食品関連企業二〇〇社以上が出席。日本企業も調味料・日本酒・食肉加工品等、数社が出席していた。ベトナムは人口九〇〇〇万人と市場規模が大きいうえに日本食ブームであり、日本の食品の安全性に対する評価も高く有望な市場と感ぜられた。特に菓子類を中心に抹茶関連製品の人気が高かった。

【五日目（九月二一日）】

最終日はファミリーマートとイオンを視察し、現地スタッフより消費者嗜好などの説明を受けた。

<ベトナム・カンボジア経済視察に関する考察>

出典：(公社) 静岡県国際経済振興会（SIBA）

ベトナム



- ・ 外国からの投資に変化が見られる。特に日本からは、従来の大型投資から中小企業による投資へ変化している。ベトナム政府の政策により、北部経済を発展させるために、進出地域の許可を北部南部に振り分けている。
- ・ 東南アジアでは日本の食品の人気が高く、ベトナムでも抹茶味の菓子や日本茶、おにぎり、焼肉など人気があり、広く受け入れられている。
- ・ 中小企業が進出する際はレンタル工場の活用など、初期投資を抑えることが重要である。
- ・ 人件費は日本に比べれば大幅に安価であるが、中国系企業では賃上げを要求する労働者がデモやストライキなどを行っている。

カンボジア



- ・ 国民の平均年齢は22.6歳と非常に若く、国家再建に向けた意欲にあふれている。
- ・ 過去の内戦の影響で外資規制が整っておらず、独資での進出が可能。唯一の外資規制は土地所有であるが、一定の居住実績により国籍が取得でき土地所有も可能となる。
- ・ 国土は日本の半分だがほぼ平地なので農地が多く、農業ビジネスのポテンシャルが高い。農産品加工や農業機械分野などが投資先として有望である。
- ・ 近年、外資系企業の進出に伴い一人あたりのGDPが上昇。人件費も上昇傾向にある。

【一人当たりGDP推移】

年	08	09	10	11	12	13	14	15
GDP(US\$)	741	734	781	877	945	1,018	1,080	1,146
伸び率(%)		-0.95	6.4	12.3	7.8	7.7	6.1	6.1

- ・ 生産拠点としては原材料、部品の現地調達が非常に困難である。
- ・ 労働者は、日本ならではの家族的労務管理を好む傾向がある。親身な扱いに好感を持つ労働者が多いため、わずかな給与差で転職する例は少ない。

二国の共通点

- ・ カンボジアの内戦やベトナム戦争の傷跡は深い。日本企業が進出して事業活動を行うことは、単に生産や販売を行うことだけでなく、進出した国の発展に寄与することも大きな使命である。発展途上国の従業員の教育やその家族の生活の向上までの配慮が必要である。

▼ベトナム国際フードショーを視察



ファミリーマートは先行者メリットを狙い早期進出し知名度を上げ、七四店舗を展開している。イオンは昨年一月一号店をオープン。五年後には一六店舗を展開する予定。

■視察を振り返って

中央会連携組織課長 真野匡雄

今回の視察は、施設の見学のみでなく現地で活躍する各企業の駐在員の方々と交流し、現地の生の声をきくことができとても大きな収穫があった。ご協力いただいた皆様に心より感謝を申し上げます。



ものづくり企業技術交流フェア

「新技術・製品開発、販路開拓のヒントをつかもう！」

■企業間連携や組織化の活用を呼びかけ

一〇月二日(金)、静岡市駿河区のホテルセンチュリー静岡で「ものづくり企業技術交流フェア」を開催した。

当フェアでは、「平成二四年度ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金」(ものづくり補助金)を活用した県内の中小企業五一社がブースを出展し、新製品・技術・サービスなどを展示、発表した。

また、日本初の民間宇宙機開発、宇宙旅行の実現を目指すベンチャー企業PDエアロスの



ペース株式会社株式会社の緒川修治社長が「挑む力」宇宙ビジネスの時代に「向けて」と題し講演、ものづくり企業や支援機関の関係者ら約一〇〇人が聴講した。

その他、中小企業診断士、県工業技術研究所の職員らによる個別相談会や交流会を行い、設備投資に関する補助金や技術開発などの情報交換を行った。

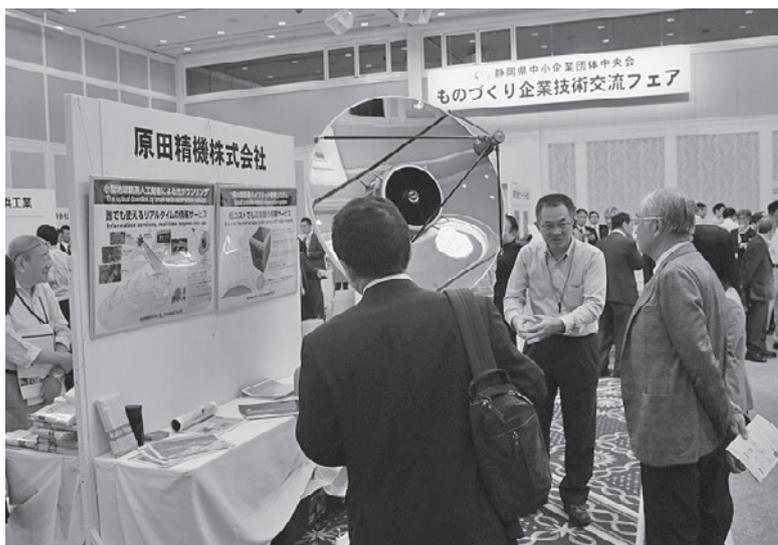
諏訪部敏之中央会会長は、「国のものづくり補助金も三年目を迎え、静岡県は全国で四番目に多い一八〇〇社を超える企業が採択されている。これは、県内のものづくり企業が新製品・サービスの開発に向け、意欲的に活動している表れ。その成果を事業化するためには販路開拓やさらなる技術開発が必要であり、一社単独では難しい。是非、企業間連携や組織化を通じ、新たなビジネスチャンスをつかんでほしいと挨拶した。

〈展示会〉

■多彩な技術やサービスを紹介

展示会には、平成二四年度ものづくり補助金の採択を受けた企業五一社がブースを出展。四〇〇人を超す参加者があり、事業提案や商談が行われた。

浜松市北区で機械部品などの製造を行う原田精機株式会社(原田浩利社長)は、当補助金で開発した「高精度衛星自動追尾装置」を展示し、来場者の目を引いた。当社は、日本航空宇宙工業会にも加盟し、宇宙航空研究開発機構(JAXA)と協力して人工衛星の部品などを加工した実績を持つ。惑星探査用車両や超小型人工衛星などの開発、事業化にも挑戦しており、技術連携の可能性調査や情報発信のために参加した。



▲原田精機(株)の出展ブース

ブース参加者からは、「複数の見積依頼や受注につながりそうな相談があった。補助金の成果を確実なものとするため、今後も販路開拓など積極的に事業を展開していきたい。中央会には引き続き、企業間連携などマッチング支援をお願いしたい」との声が寄せられた。

〈ものづくり支援セミナー〉

■宇宙旅行は四〇万円以下に!?

PDエアロス株式会社株式会社の緒川社長が当社の沿革や事業概要を紹介し、宇宙ビジネスの動向や今後の事業展開について講演した。

▼宇宙ビジネスをテーマにセミナーを開催



緒川社長は、幼少よりパイロットを志し、学校卒業後は三菱重工で次期支援戦闘機（XF-2）の開発に従事。アイシン精機で自動車用吸排気装置の開発に携わった後、平成一九年、当社を創立。平成二五年からは、内閣府宇宙戦略室宇宙輸送システム部会の委員を務めている。

「宇宙ビジネスは、オバマ米国大統領が平成二二年に発表した新宇宙政策により新たな局面を迎えた。また、GoogleやAmazonの経営者といったIT長者による事業化がブームに火をつけ、現在では、宇宙開発における賞金レースが熱を帯び、全世界で二六チームがしのぎを削っている」と説明。そのうえで「宇

宙ビジネスは、もはや国家事業ではない。企業連携によるベンチャー企業の進出は目覚ましく、当社もそのうちのひとつ。宇宙までの物

資輸送コストが現在の十分の一になれば、一気に需要は伸びると考えている。三〇年後には四〇万円以下で、宇宙旅行ができる時代が来るかもしれない」と話した。



▲緒川修治社長

静岡産業大学・冠講座

地域企業の魅力！
企業経営者の本音！

企業経営者が学生に

地域企業の魅力を語る

静岡産業大学と連携し、会員組合の企業経営者らを講師とする「冠講座」を開催する。

当事業は、地域の中小企業と地元の大企業との交流、相互理解を促進することが目的。講師を務める経営者らは自社の事業の概要や企業が求める人材について話すことで地域中小企業の魅力を若い世代に伝える。学生は就職活動に向け職業観を養い社会人として必要な応用力の向上を目指す。

一〇月六日、藤枝市にある当大学の藤枝キャンパスで開かれた第一回の冠講座では、諏訪部敏之中央会会長が情報学部の一、



▲学生を前に講演する諏訪部中央会会長

四年生に対し職業人としての心構えなどを語った。

諏訪部会長は「社会人には決してあきらめない粘り強さや、何事にも関心を持つ探究心が必要。企業は失敗を恐れず、できないと言う前にどうしたらできるかを考える前向きな考えを持つ人材を求めている」と話し、「中小企業には、やりがいや夢が詰まっている。地元企業の魅力に、是非注目してほしい」と呼びかけた。

冠講座は来年一月まで合計一二回開催され、組合の役員をはじめ女性経営者や企業人事担当者らが自らの経験を踏まえ講演する。

2016年 「組合トップセミナー」・「新春賀詞交歓会」

静岡県中央会では、新春恒例の行事となりました「組合トップセミナー」・「新春賀詞交歓会」を下記のとおり開催いたします。

新年が大いなる飛躍の年となりますよう、決意を新たにする交流の機会として頂ければ幸いです。
多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

- ◇開催日程 平成28年1月13日(水)
 - 第1部「組合トップセミナー」
 - 14:30～ 開会
 - 14:50～ 新春講演（基調講演）
 - 第2部「新春賀詞交歓会」
 - 16:30～18:00 交流会
- ◇会場 ホテルセンチュリー静岡(JR静岡駅南口徒歩3分)
- ◇基調講演 テーマ「地域経済の明るい未来の実現」(仮題)
講師 中村智彦氏
神戸国際大学経済学部教授
- ◇参加費 お一人 15,000円
- ◇お問合せ・お申込み
静岡県中小企業団体中央会 連携組織課
TEL.054-254-1511
FAX.054-255-0673

【講師プロフィール】

中村智彦氏（神戸国際大学経済学部教授）

中小企業間のネットワーク構築や地域経済振興のプロジェクトに数多く参画し、企業経営、工業誘致、商店街振興、農商工連携による町興しに造詣が深い。人口減少により国内マーケットが縮小していく中、海外市場に目を向け、ピンチをチャンスに変えるために経営者がなすべき経営戦略を提案する。

「世界一受けたい授業」(NTV)では、聴衆の好奇心を沸き立たせる、工場見学などのモノづくりの解説で好評を博している。





山梨県中央会と緊急時の相互支援協定を締結 平時を含めた事業連携の強化を目指す

静岡県中小企業団体中央会

静岡県中央会（諏訪部敏之会長）は、九月二五日、山梨県甲府市において山梨県中央会（松葉博之会長）と正副会長懇談会を開催し、緊急時における組合や中小企業に対する相互支援についての協定を締結した。

平成二九年には、中部横断自動車道の山梨区間の開通が予定されており、今後、静岡・山梨両県の経済交流が活発化することが予想されている。また、懸念される東海地震や富士山噴火など大規模災害発生時は両県で甚大な被害が予想される。

これらを受けて、当協定では被災時における被害状況や復旧に関する情報収集への協力、中央会事務局に対する物的・人的支援などが盛り込まれた。さらに、緊急



協定書を手にする
諏訪部静岡県会長（右）と
松葉山梨県会長（左）

時に組合間連携が迅速に行われるよう、同業種組合を中心に連携の可能性やニーズ調査を行い、業種や業界組合毎の具体的な連携体制の構築をバックアップするとした。

産業振興では、交通インフラの整備により商圏の拡大も期待できるため六次産業化、農商工連携、ものづくり連携を核に、イベントへの相互出展などを通じてビジネスマッチングを促進する。その他、中小企業における人材確保についても協力し、首都圏での共同PRや両県の求人求職ガイダンスでの相互PRを行う予定。

諏訪部会長は、「両県中央会が創立六〇周年を迎えた節目の年に協定を結ぶことができ、大きな希望が生まれた。緊急時の連携には、日頃の交流が重要。様々な事業を検討し、恒常的な組合間交流を通し、結びつきの強化を目指したい」と述べた。

山梨県中央会は二六二の組合を含め三一七の会員を有する。

「第三回国際陶芸フェスティバルinさま」を開催 『うらっち美術館、開演』

同フェスティバル実行委員会・企業組合くれば

今年で三回目となる「国際陶芸フェスティバルinさま」が、一月二〇日から二二日にかけて企業組合くれば（岡村尚理事長）が管理運営する島田市川根町笹間の「山村都市交流センターさま」他で開催される。

当事業は、新しい形のイベントを開催したいという陶芸家の思いと、過疎化が進む地域を活性化させたという笹間住民の願いが重なり平成二三年にスタート。以後、二年毎に開催されており、前回は海外を含め全国から四〇〇〇人を超す陶芸ファンや地元住民が集まった。

長い歴史と伝統を持つ日本の陶芸は、世界の陶芸作家や関係者から注目を集めており、なかでも当フェスティバルは、陶芸ファンはもとより作家同士が学び交流できる場として毎回大きな反響を呼んでいる。

今回のテーマ



▼前回行われたワークショップの様子

マは「うらっち美術館」。「うらっち」とは、笹間の方言で「私達」を意味し、「私達の美術館」としてこの地域を訪れた人にとってそれぞれの故郷になつて欲しいとの思いを込めた。地域内の空き家や旧笹間中学校、公民館など様々な場所に七〇人を超す作家の作品が展示され、美しい自然と里山の生活風景を一緒に楽しむことができる。

当日は、世界で活躍する招待作家によるワークショップが行われる他、地場産品の販売や民家の縁側にカフェを設けるなど住民との交流をはかる。

当実行委員会は、「陶芸の素晴らしさと共に笹間の魅力を世界に発信していきたい」と意欲を語る。当フェスティバルの詳細、問い合わせは組合まで。

電話：〇五四七五四一〇六六一



▼川勝知事(左端)に提案書を手渡す岩崎会長と諏訪部中央会会長(右端)ら



職場環境の形成に大きな影響を与えることがわかった。そこで、当提案書では、誰もが働きやすい

展開していく。経済四団体は、県とともに県内企業の「子宝率調査」を実施し、子育てに優しい企業の発掘を行った。その結果、企業経営者や管理職の意識が、男女ともにいきいきと働くことができ、企業自体も発

経済四団体の会長が川勝県知事と面会 「子育てしやすい職場環境の実現」に向け提案

静岡県中央会他経済四団体

職場環境を実現するためには、仕事と生活の調和をはかる「ワーク・ライフ・バランス」の実践を社会全体に浸透させる必要があるとした。また、ワーク・ライフ・バランスの実践のために、「イクボス」の育成と普及を求めた。「イクボス」とは、部下の能力を最大限引き出して育(イク)成し、自らも仕事と私生活を楽しむことができ、経営者、管理者(ボス)をさす。県では今後、イクボス育成のための養成講座を実施するほか、一二月には先進事例の紹介などを行う「子育て応援全国フォーラム」を静岡市内で開催するなど、子育てしやすい職場環境づくりを目指す。



温泉街を優しい明かりがライトアップ 第一〇回「和紙のあかり展」を開催

寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合ほか

川根本町の寸又峡温泉で、一〇月一五日から一二月五日まで「和紙のあかり展」が開催され、同温泉街のメインストリート約六〇〇mが、和紙を使った創作灯籠の優しい光でライトアップされた。

ものまで、老若男女、幅広い層の来街者を楽しませた。寄せられた作品は、プロの照明デザイナーらよって審査され、大賞を決定。一二月六、七日に開催される「寸又峡温泉感謝祭」で表彰され、来場者に披露される。

▼全国から150を超す作品が寄せられた



かたどつた「灯籠みこし」や人気アニメのシルエットが浮かぶ

町制一〇周年と時を同じくして一〇回目を迎えた同展示会のテーマは、「自然と共生」。自然豊かな同温泉街をイメージし、県内はもとより全国の小学生からプロのアーティストまで一五〇を超える工夫を凝らした作品が展示された。ほとんどの作品は、木の骨組みの中に光源となる電球を配置し、様々なかたちの和紙のフードで囲われている。花をモチーフにした精緻な作品の他、だるまをかたどつた「灯籠みこし」や人気アニメのシルエットが浮かぶ

同事業の企画から運営を行う寸又峡美女づくりの湯観光事業協同組合の望月孝之理事長は、「回を重ねるごとに、芸術性が高まっており、あかり展を楽しみに訪れる若いお客様も増えている。一〇年続けばイベントは文化になり、伝統になっていく。今後も、日本一清楚な温泉保養地を目指し、地域資源である自然の景観や昔からの温泉郷の風情を大切に、地域を活性化していきたい」と述べた。



▲幻想的な明かりが温泉街を優しく照らす

(平成27年9月の情報連絡員月次景況調査より)

静岡県中央会に設置されている情報連絡員〔協同組合等の役職員60名に委嘱〕による毎月の景況調査の概要です。

業界の声 対象17業種より抜粋

■製造業

- 原材料等のコスト高の影響から問屋も発注を控えているのか、秋以降の受注が少ない。(織物業)
- お彼岸で多少の動きはあったが、依然として厳しい状況が続いている。(宗教用具製造業)
- 今月は静岡県中部地区での需要が特に弱かった。しかし来月以降の見積もり等からは需要増加の傾向がみられるため、今後に期待したい。(木材・木製品製造業)
- 大手製品の販売促進チラシは増えているが、中小メーカーにおいては特に動きや変化がない。(パルプ・紙・紙加工品製造業)
- 全県下で1～2割の出荷減となっている。早急な景気対策を願いたい。(セメント・同製品製造業)
- 全国の鍍金業界生産高が前年同月比で15%減に対し、静岡県内の鍍金業界生産高は、前年同月比で18%減となった。(金属製品製造業)
- 一部の企業では仕事量も増え、先行きは明るくなりつつある。但し、小規模企業は依然として厳しく、廃業する企業の増加が予想される。(生産用機械器具)
- 受注先の事情等により、受注済み案件の生産や納期の繰り延べ依頼が目立った。その間の仕事の穴埋めができず、減収減益を余儀なくされる現状にある。(生産用機械器具)
- 猛暑の影響で好調だった白物家電品の売行きは、9月に入り平均並みに落ち込んだ。(電気機械器具)
- 企業間のバラつきはあるものの生産量は減少しており、引き続き各社で厳しい状況が続いている。(輸送用機械器具)
- 原材料の漆が値上がりし、苦慮している。(漆器製造業)

■非製造業

- 公共工事関連の減少基調と天候不順が重なったこともあり、セメント需要の不振が続いている。(セメント卸売)
- エアコン、冷蔵庫といった白物商品の売行きは依然として好調。液晶テレビも回復傾向にある。(機械器具小売)
- 大手家電メーカーの小売店に対するカタログや商品の斡旋が出

遅れているといった意見が多く寄せられた。(機械器具小売)

- 小売店舗の廃業が目立った。(鮮魚小売)
- 9月は大変厳しい状況だった。10月は地元の祭りや組合のイベントで多くの人出が予想されるため、商店街に賑わいが出ることを期待したい。(商店街)
- 9月中旬に店舗と来街者の交流イベントを実施。各個店の活性化や来街者との絆の創出につなげていきたい。(商店街)
- ファッション関連店舗が厳しい状況にある。(商店街)
- 12月にイベントの実施を予定しており、銭太鼓やよさこい、吹奏楽の団体が参加することとなった。来場者・出演者が楽しめるイベントにしたい。(商店街)
- 大型連休の影響もあり、宿泊者数と売上が増加した。(宿泊業)
- 長期休暇の影響により売上が上がらず苦慮している。都内を中心に優秀な人材が不足している影響から、仕事の単価も値上がり傾向にあるものの、静岡県中部地区ではこの潮流に乗りきれない。(情報サービス)
- 昨年同月と比較して変化はないが、昨年同月の景気状況がよかったわけではない。(ビルメンテナンス)
- 西部地区で仕事が少ない。仕事量の少なさは、仕事の低価格入札につながるが、そのしわ寄せを下請けが受けることとなり、収益の悪化や人員不足につながってしまう。(総合工事)
- 公共投資が減少している。また、1件当たりの工事額も縮小傾向にある。(総合工事)
- 官庁工事は発注件数が少ないままだが、民間工事は増加傾向にある。(総合工事)
- 燃料価格が前年同月比で1リットル当たり37円程度値下がりしている分、収益状況は改善している。機械関係の荷動きは堅調だったが、その他の荷動きはやや低調だった。(道路貨物運送)
- 9月は大型連休があった影響から、月の前半に輸送が増加したが、後半にかけても輸送は安定した。また、燃料の値下がりもあり収益状況が好転した。(道路貨物運送)
- 軽油価格は下がったが、収益の改善にはつながっていない。雇用人員が増加した企業が何社もあった。(道路貨物運送)

ラジオ放送のご案内

『学生・求職者に中小企業の魅力を発信！』

静岡県中央会では、学生・求職者と地域企業との出会いを支援する各種事業を展開しています。

この度、当事業の一環として静岡エフエム放送(K-mix)のラジオ番組内で、中小企業の魅力を紹介するコーナーを制作しました。

主に就職活動を行う学生向けの情報発信を目的としていますが、是非、組合や企業の皆様にも聞いていただきたいと思っております。

番組名 K-mix 「みんなの19HR」

放送時間 11月9日(月)～12月3日(木) 毎週月曜日から木曜日
20:05～ 5分コーナー(16回)

内容 学生が中小企業を訪問し採用担当者にインタビューを行い、事業概要や得意とする技術などを紹介します。



景況ウォッチ

組合活性化情報

内閣府が10月13日に発表した9月の消費動向調査によると、消費者心理を示す消費者態度指数は前月比1.1ポイント低下の40.6となり、前月に続き消費者心理の基調判断を「足踏みがみられる」とする結果となった。

連絡員からの9月期の動向をみると、前月との比較で、全9項目中「業界の景況」の項目が改善傾向となった。一方、前年同月比では「在庫数量」を除く全ての項目でマイナスとなっている。

各業種からの自由回答を見ると、運輸業等の一部の業界では景況感に改善の兆しが見えつつあるが、全体としては原材料費の高騰や仕事量の減少などの課題により、厳しい状況が続いている業界が多い。

概況

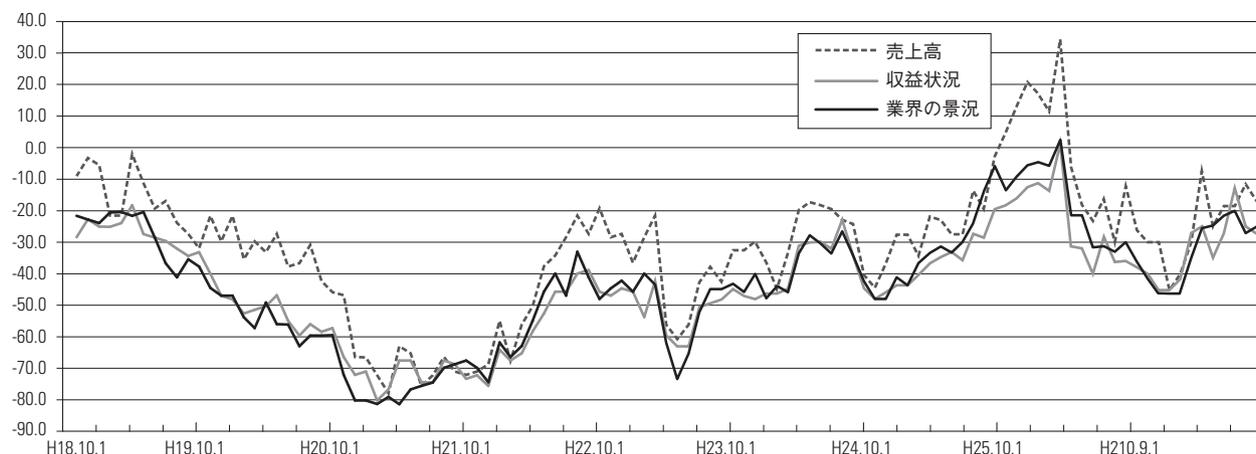
- 平成27年9月のDI値を前月と比較すると、「在庫数量」と「業界の景況」以外の項目が悪化傾向となった。
- 「製造業」では、「業界の景況」が改善する一方、「在庫数量」「業界の景況」以外の項目は悪化の傾向となった。自由回答では、繊維工業等で原材料費の高騰に苦慮。紙・加工品や一般機器、輸送用機器からは、企業間で仕事量や生産量に格差が出ているとの報告が寄せられた。
- 「非製造業」では、「売上高」「収益状況」の項目で改善傾向となっている。自由回答では、建設業において仕事量が減少。運輸業においては、燃料価格の低下により収益状況が改善したとの報告が寄せられた。

DI値の推移 ※DI値 = [(増加・好転組合数 - 減少・悪化組合数) / 対象組合数] × 100

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人数	業界の景況
H27.09	-16.6	-2.3	-3.3	-11.6	-26.7	-11.7	-13.8	-8.3	-25.0
DI値	☀	☁	☁	☀	☂	☀	☀	☁	☂
H27.08	-11.7	-2.3	1.6	-1.7	-25.0	-8.3	-10.4	-3.3	-26.6
H27.08→H27.09	-4.9↓	0.0→	-4.9↓	-9.9↓	-1.7↓	-3.4↓	-3.4↓	-5.0↓	1.6↑

+0.1以上…☀ ±0.0~-10.0…☁ -10.1~-20.0…☂ -20.1~-…☂ なお「在庫数量」のみマイナス値が大きいほど好転を示している。

主要三指標DI値推移（過去10年間）



清水テクノカレッジ技能祭2015の開催について

～技能やものづくりを身近に体験できます！～

清水テクノカレッジで、ものづくりの面白さや専門校の日常活動を紹介するイベントを開催します。お誘いあわせの上ご来場ください。

- 参加者** 技能に関心のある方、ものづくりにチャレンジしたいお子様、進路を検討している高校生や保護者の方など、どなたでも参加できます。事前申込は不要です。
- 内容** 各種ものづくり体験、静岡県技能マイスターによる技能披露・ものづくり体験、各種製作品等の展示や販売、スタンプラリー、吹奏楽団による演奏等。
※ものづくり体験は、内容により材料費程度の負担をお願いする場合があります。
- 入場料** 無料
- 日時** 11月29日（日）午前10時から午後2時まで
- 会場** 清水テクノカレッジ（清水技術専門校）
（静岡市清水区楠160）
- アクセス** （鉄道）JR草薙駅及び静鉄草薙駅より徒歩15～20分
（バス）しずてつジャストライン 国道静岡清水線「有度局前」から徒歩10分
（自家用車）静清バイパス長崎インターチェンジから約5分*場内駐車可

【お問い合わせ】

清水テクノカレッジ（静岡県立清水技術専門校）訓練課

TEL：054-345-2032 FAX：054-345-2921

HP：http://www.shimizu-tc.ac.jp/

清水テクノカレッジ

検索

●昨年の様子



テクノカレッジ若年者コース入校生募集について

県立技術専門校（愛称“テクノカレッジ”）は、静岡県が設置する公共職業能力開発施設です。

おおむね30歳以下の方を対象にした若年者コースでは、平成28年度入校生を募集します。高い就職率（例年ほぼ100%）、資格の取得、充実の設備など、魅力あふれるテクノカレッジへの入校をお待ちしています！！

募集校	科名	定員	訓練期間	募集期間	選考日
沼津	機械技術 電子技術 情報技術	各科 20名	2年	11/2(月)～11/19(木)	11/27(金)
				1/4(月)～1/22(金)	1/29(金)
清水	機械技術 電気技術 設備技術		2年	11/2(月)～11/20(金)	12/4(金)
				1/4(月)～1/22(金)	1/29(金)
浜松	機械技術 建築		1年	1/6(水)～1/22(金)	1/29(金)

●共通

- ・授業料：年間118,800円
- ・検定料：2,200円

●対象者

主に平成28年3月卒業予定の高校生等（おおむね30歳以下で、技術・技能の習得意欲及び就職意欲のある方）

●申込方法

下記お問い合わせ先又はホームページから応募資料を請求してください。

●お問い合わせ

沼津・清水・浜松の各テクノカレッジ

【沼津テクノカレッジ】（沼津市大岡4044-24）

TEL：055-925-1071 FAX：055-925-1115

HP：<http://www.numazu-vtc.ac.jp/>

【清水テクノカレッジ】（静岡市清水区楠160）

TEL：054-345-2032 FAX：054-345-2921

HP：<http://www.shimizu-tc.ac.jp/>

【浜松テクノカレッジ】（浜松市東区小池町2444-1）

TEL：053-462-5602 FAX：053-462-5604

HP：<http://www.hamamatsu-tech.ac.jp/>



静岡労働局からのお知らせ

ストレスチェック制度の創設について

健康安全課
Tel.054-254-6314

2015年12月からストレスチェックの実施が義務※になります。

※従業員50人未満の事業場については当分の間、努力義務です

働く人のメンタルヘルス不調を防いで、イキイキとした職場環境を実現しましょう。
事業者の方々は、ストレスチェックの実施には以下の点に注意してください。

- ☑ ストレスチェックの実施者は、医師、一定の研修を修了した保健師又は精神保健福祉士となっています。
- ☑ ストレスチェックの結果は、従業員の同意がない限り事業者への提出が禁止されています。
- ☑ ストレスの高い従業員から申し出があった場合、医師による面接指導を行います。
- ☑ 面接指導の結果、医師の意見を聞き、必要に応じて働き方への配慮をしましょう。

改正労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度とは？

平成 26 年 6 月 25 日に公布された労働安全衛生法の一部を改正する法律により、ストレスチェックと面接指導の実施等を事業者へ義務付ける制度が創設され、平成 27 年 12 月 1 日から施行されることとなりました。

※ストレスチェックとは、事業者が労働者に対して行う心理的な負担の程度を把握するための検査をいいます。

本制度の目的

- ・一次予防を主な目的とする（労働者のメンタルヘルス不調の未然防止）
- ・労働者自身のストレスへの気づきを促す
- ・ストレスの原因となる職場環境の改善につなげる

ストレスチェック制度の概要

ストレスチェックの実施

- ・常時使用する労働者に対して、年に1回、ストレスチェックを実施することが事業者の義務になります。
- ・ストレスチェックの項目には、「仕事のストレス要因」、「心身のストレス反応」、「周囲のサポート」に関する項目が含まれます。

面接指導の実施

- ・高ストレスと評価された労働者から申し出があったときは、医師による面接指導を行うことが事業者の義務になります。
- ・事業者は、面接指導の結果に基づき、医師の意見を勘案し、必要があると認めるときは、就業上の措置を講じる必要があります。

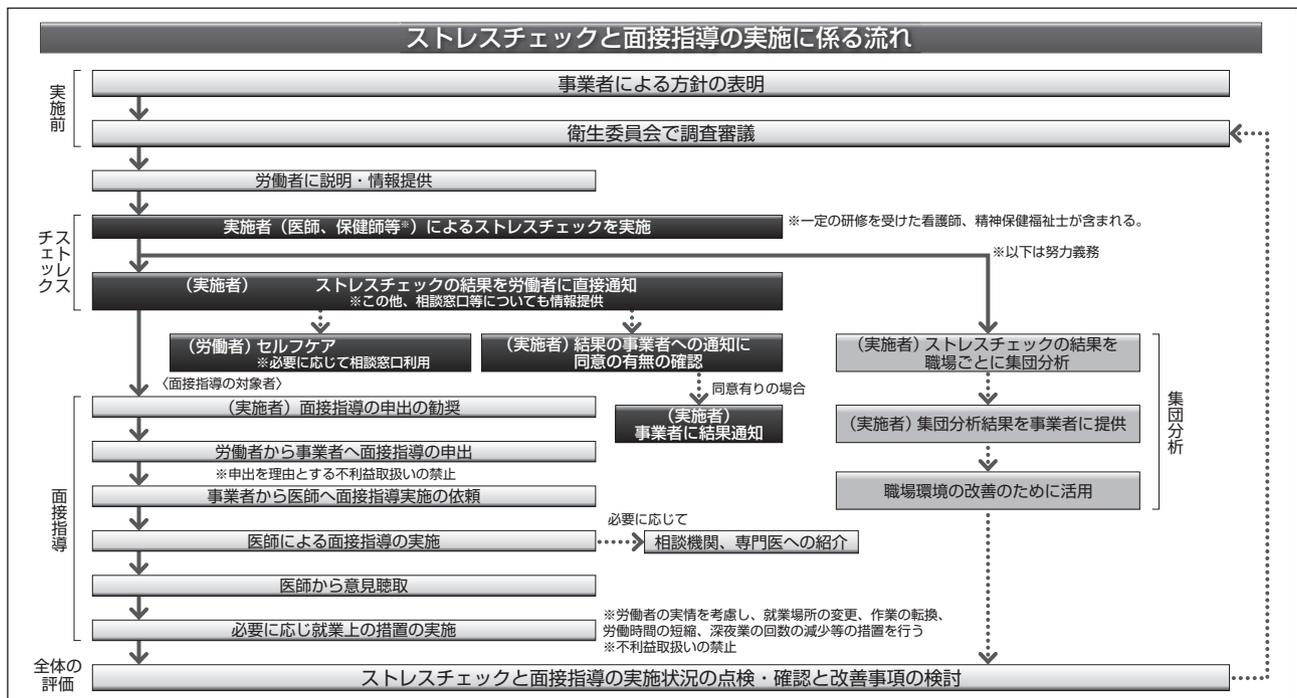


詳細は



働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト『こころの耳』

[http:// kokoro.mhlw.go.jp/](http://kokoro.mhlw.go.jp/)



「平成二七年度 組合事務局代表者会議」を開催 （株）浜野製作所代表取締役 浜野慶一氏が講演ほか

静岡県中央会は、九月一五日、県職員協会、県中小企業組合士会との共催により「平成二七年度組合事務局代表者会議」を静岡市葵区のクーパーホール会館で開催した。

当会議には、来賓の野村芳一県経営支援課長、小山君一商工中金沼津支店長をはじめ組合の事務局職員ら約一〇〇人が出席。基調講演や事例発表が行われた他、懇親交流会を行った。



また、県職員協会、県中小企業組合士会の紹介を行い、それぞれの団体への加入促進をはかった。

一社長が、「中小企業が挑む！連携による新産業・ものづくりへの挑戦！」と題し、苦境を乗り越え成長を続ける当社の沿革や経営理念について話すとともに、近年力を入れている産学官連携の事業概要や企業連携のコツについて解説した。

浜野氏は、「誇りを持つてものづくりに取り組むことが重要」としたうえで、「工場が火災で全焼し、最悪な状況から立ち直ることができたときに感じたのが『おもてなしの心』の大切さ。特に中小企業は周囲への感謝を常に忘れず、夢と希望をもって前向きに事業に取り組まなければ成功はない」と話した。

また、早稲田大学と連携して取り組んだ電気自動車『HOKUS AI』や、

海洋研究開発機構

などとの共同による深海探



▲講演する(株)浜野製作所 浜野慶一社長

査機「江戸っ子一号」の開発に触れ、「従来のやり方に固執しすぎず職人の考え方が、ものづくりを停滞させることがある。産学官連携は、こういった考え方を打破し、柔軟な発想と行動力をもたらず。企業間連携のコツは、とにかく失敗を恐れずやってみること。そこには多くの出会いがあり、将来の成長に向けたヒントが必ずあるはず」と語った。

事例発表

「逆境に打ち勝つ！」

組合ブランド構築への取組み 静岡県わた寝具商工組合

事務局長 澤田信之氏

当組合は、昭和四四年設立。ピーク時には七四七社だった組合員が現在一三四社となっている。

澤田事務局長は、「厳しい業況だが、昨年度、新たに組合オリジナルネームタグをデザインし、それを布団や座布団に付け、組合ブランドを売り出す事業を始めた。県内産をア

ピールしようにと遠州木綿の生地を利用するな



▲県わた寝具(商工) 澤田事務局長

ど組合連携や企業連携を模索している。組合員の質の高い製品や信頼性を広くアピールし、顧客に安心と信頼を提供することで今後の生き残りをはかりたい」と述べた。

「ビジネス支援組織としての

あるべき姿」今、組合事務局に

求められる視点と行動」

磐田さぎさか工業団地協同組合

専務理事 大杉良則氏

当組合は、昭和五八年設立、自動車関連の製造業を中心に二二社で構成される団地組合。

大杉専務は、「土地の所有権移転の際、様々な軽減措置を研究し、見込みより低額で完了することができ、組合員から大きな信頼を得た。組合事務局には『触媒機能』が求められる。組合員だけでは化し合しないことが、混合することによって様々な化学反応を引き起こす。事務局が組合員のニーズを把握し、ワンストップサービスで必要な情報を迅速に提供することが重要である」と語った。



▲磐田さぎさか工業団地(協) 大杉専務理事

基調講演 産学官連携は

「出会い」と「チャレンジ」の場
東京都墨田区で精密板金加工を行う株式会社浜野製作所の浜野慶



「自己紹介」

四月に中央会に入会しました東部事務所の飯田多佳子です。

前職は、化粧品メーカーで営業をしていました。全国にある直営店の担当者として、新店の立ち上げやソフトフォロワーなどで一年の約半分は出張に出て、マンスリーマンションやホテルで暮らす生活をしていました。そんな生活をしていたので、物件選びといつでもどんな場所でもすぐに寝ることができるのが特技です。

趣味は水泳です。週に一度ジムに通っています。水泳は、短い時間でも運動効果があること、運動後も体が涼しいままでいられるところが気に入っています。

中央会に入会し、半年以上が経ちました。この期間、いろいろな業種の方とお会いする機会があり、自分の知らないことがまだまだあるのだと実感する毎日です。至らない点も多々あるかと思いますが、皆様のお役に立てるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



静岡県中小企業団体
中央会
東部事務所
飯田 多佳子



山梨県が名実ともに近づいた。
山梨県中央会との相互支援協定は、まさにそれを実感させるマイルストーン（一里塚）だ。
「富士山は静岡のもの？山梨のもの？」などつまらない論争はもう止め時だろう。「あちらは商売がうまいし、近い将来、リニアも走るんだって。静岡空港に着いた外国人は静岡を素通りして、山梨県に観光に行くらしいよ…」などと妬んでばかりいたのでは、差が広がるばかりだ。お互

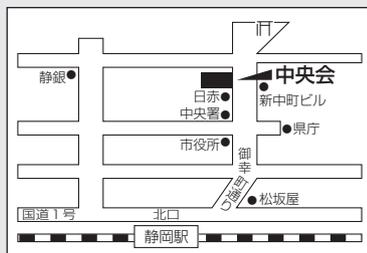
いが活発に交流し、切磋琢磨していかなければ地域経済の発展は見込めない。

ある調査によると平成26年のマグロの消費量は静岡県が全国第1位で、山梨県が第2位だという。例えばこんな点にも、新しいビジネスの種があるような気がする。

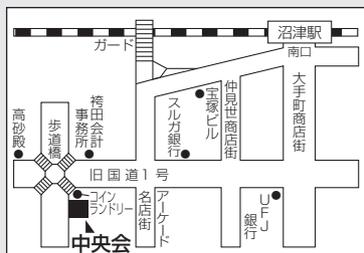
とりあえず、たまった仕事が片付いたら勝沼のワイナリーを巡って山梨県の良いところを体感してこようと思う。
(押尾)

中小企業静岡11月号 (通巻744号)

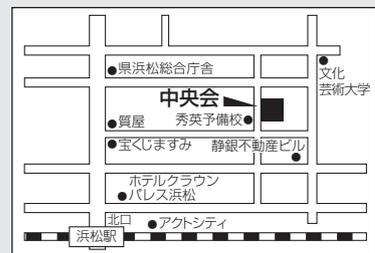
- 発行人 / 静岡県中小企業団体中央会 〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1 TEL / 054-254-1511 FAX / 054-255-0673
東部事務所 〒410-0881 沼津市八幡町7番1号 TEL / 055-963-4511 FAX / 055-963-8307
西部事務所 〒430-0929 浜松市中区中央1丁目17-19 TEL / 053-453-2195 FAX / 053-453-2198
- 中央会ホームページ <http://www.siz-sba.or.jp/> ● E-mailアドレス m-osuo@siz-sba.or.jp
皆様のご意見をお待ちしております。(TEL、FAX等でもお受け致します。)



静岡事務所



東部事務所



西部事務所

フロン排出抑制法が施行され、業務用冷凍空調機器を所有する事業者に簡易点検等を行う義務が新たに課せられました！

平成27年4月1日にフロン排出抑制法が施行され、パッケージエアコンなどの業務用冷凍空調機器（※1）を所有するほとんどの企業が新たな義務を負いました。

※1 対象となる機器…業務用エアコン、冷凍・冷蔵機器のうち、冷媒としてフロン類が充てんされているもの。（カーエアコンを除く。）

重要！

1 機器の点検

(1)対象となる機器の管理者（※2）は、『簡易点検』（※3）を実施（3か月に1回以上）しなければならない。

※2 管理者…対象機器の所有者や機器の使用等を管理する責任を有する者

※3 簡易点検…安全に確認できる範囲で、「油にじみの有無」や「異音」等の確認

(2)管理者は、次の機器について専門家（※4）による『定期点検』を実施しなければならない。

※4 専門家…点検に関する十分な知見を有する者

（日頃維持管理を依頼している業者や機器の納入業者が「知見を有する者」にあたるか確認した上で依頼するか、機器メーカーに依頼してください。）

【定期点検の対象機器】

機 種	圧縮機電動機定格出力	定期点検頻度
業務用 エアコン	7.5kW 以上 50kW 未満	3年に1回以上
	50kW 以上	1年に1回以上
業務用 冷凍・冷蔵機器	7.5kW 以上	1年に1回以上



（出典：「業務用冷凍空調機器ユーザーによる簡易点検の手引き」（一社）日本冷凍空調設備工業連合会）



（出典：「第一種特定製品管理者の役割と責務」（一財）日本冷媒・環境保全機構）

2 冷媒漏えい時の速やかな修理

管理者は、冷媒の漏えいを発見した時は、原則として速やかに漏えい箇所の特定制及び修理を実施しなければならない。

3 点検・修理等の履歴の記録・保存義務

管理者は、機器の点検・修理やフロン類の充填・回収等の機器整備に関する履歴を記録・保存しなければならない。

○点検・整備記録簿は記録事項を満たすものであれば既存様式も含め特製の様式は問いません。（一社）日本冷凍空調設備工業連合会で様式を作成しているので参考とすることができます。

（（一社）日本冷凍空調設備工業連合会ホームページ：<http://www.jarac.or.jp/kirokubo/>）

4 フロン類の漏えい量の報告

1年間にフロン類をCO2換算値で1,000t以上漏えいした管理者は、国へ報告しなければならない。

5 機器を廃棄する際のフロン類回収義務（従前から規定あり）

管理者は、機器を廃棄する場合は事前に第一種フロン類充填回収業者に依頼してフロン類を回収しなければならない。また、回収依頼の際は、行程管理票を交付しなければならない。

（行程管理票については、業者に確認してください。）

○業務用冷凍空調機器の点検等を実施することで、**機器の突発的な故障（⇒業務への影響大！）を未然に防ぎ、非効率な運転（⇒過剰な電気代！）を改善し、省エネにつながります。**

○冷媒1kgの温暖化影響はレジ袋14万枚による環境負荷と同等です！（冷媒：フロン R410A）
地球環境の保全のためにも、冷媒の漏えい防止に御協力をお願いします。

【お問い合わせ先】 静岡県くらし・環境部環境政策課

・ 電話番号：054-221-3781 ・ E-mail：kankyouseisaku@pref.shizuoka.lg.jp

・ F A X：054-221-2940 ・ ホームページ：<https://www.pref.shizuoka.jp/kankyofuronkanrisya2.html>

つもる話は
アフター
ファイブに。

仕事帰りにお越しの
お客様へ。

はずむ話は
デイ
タイムに。

家族と一緒に
お越しください。



働く人に便利な2つの「相談会」。

〈ろうきん〉全店OPEN!
水曜よりみち相談会

17:00~19:00

毎週水曜日 夕方 **予約優先**^{※1}

県内〈ろうきん〉の全営業店で開催中!

TOPICS

ローンのこと、お金のこと。
ご相談内容が充実。

住宅ローンなど、各種ローンのご相談はもちろん、
預金や個人向け国債、投資信託、
個人年金保険のご相談もお取扱いたします。^{※2}
お金のことなら何でも幅広くご相談ください。

日曜のんびり相談会

9:00~12:00 13:00~16:00

毎週日曜日 **予約制**

県内〈ろうきん〉のローンセンターで開催中!

TOPICS

週末はご家族で。
3ローンセンターでは
土曜日でも相談OK。 **予約制**

お客様の声にお応えして土曜日も相談会を開催。

土曜日開催店
◎浜松中央ローンセンター
◎静岡中央ローンセンター
◎富士ローンセンター

※1 ご予約のない場合、混雑状況により当日のご相談をお受けできないこともありますので予めご了承ください。

※2 個人向け国債、投資信託、個人年金保険のご相談は予約制となります。

※ いずれの相談会も、一部開催しない日がございます。

〈ろうきん〉が初めての方も大歓迎。ぜひお近くの〈ろうきん〉へ。

お近くの〈ろうきん〉はこちらから!

スマホ版に
アクセス!



いつもあなたの目線で。
静岡ろうきん

お問い合わせ
ご予約は

ビボバde ろうきん 携帯電話からでもOK!

フリーダイヤル 平日 9:00~18:00

0120-609-123

インターネットホームページ
<http://shizuoka.rokin.or.jp>